

令和2年度 事業報告書

令和2年4月 1日から

令和3年3月31日まで

学校法人 ひじり学園

1. 法人の概要

名称 学校法人 ひじり学園（昭和41年9月14日法人設立）

代表者 理事長 安達 譲

住所 豊中市新千里北町3丁目2番1号

電話 06-6873-4152

FAX 06-6872-0466

設置する認定こども園

○幼保連携型認定こども園 せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園
豊中市新千里北町3丁目2番1号

○幼稚園型認定こども園 ひじりひがし幼稚園
箕面市1丁目7番1号

設置する保育園

○ひじりとよかわ保育園
箕面市粟生間谷西1丁目2番1号

役員 理事 7名

監事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催

評議員会 2回開催

職員 95名（せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園）

31名（ひじりひがし幼稚園）

18名（ひじりとよかわ保育園）

2. 事業の概要

①せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園

《教育方針》

一人ひとりを大切にする。力強く生きる力を育てる。人や自然との関わりの中で自己肯定感（自尊感情）や意欲を育てます

《教育内容》

恵まれた自然の中で、自分の興味関心のあることに取り組める環境を大切に。

また、先生や友達と一緒に活動することの楽しさを十分に味わえるようにしています。

《園児数》 5月1日時点

せんりひじり幼稚園

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数	園児数計 (2号)
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	5	125 (245)	5	150 (245)	5	160 (245)	435 (725)	
30年度	5	127 (245)	5	145 (245)	5	154 (235)	426 (715)	
令和元年度	5	125 (215)	5	135 (245)	5	151 (245)	411 (695)	
令和2年度	5	125 (245)	5	137 (24)	5	140 (25)	402 (73)	

ひじりにじいろ保育園

	0歳児	1歳児	2歳児	園児数計
定員	6	20	24	50
平成30年度	6	20	22	48
令和元年度	6	20	22	48
令和2年度	6	20	22	48

《職員構成》

園長	1名				
副園長	2名				
主幹保育教諭	2名				
保育教諭	59名	保育補助	5名	栄養士	2名
調理員	7名	事務員	4名	用務員	2名
体操教諭	1名	看護師	1名	育休	2名

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時
土曜日 休園

《基本保育料》

利用者負担金 1号、2号、3号認定ごと、各市で定められた額

《入園諸経費》 入園検定料 5,000円

《特定徴収》

施設整備費	[3歳児] 年額	90,000円
	[4歳児] 年額	60,000円
	[5歳児] 年額	30,000円
教育充実費	[3歳児] 年額	10,500円 (2号 11,000円)
	[4歳児] 年額	8,500円 (2号 9,000円)
	[5歳児] 年額	7,500円 (2号 8,000円)

《実費徴収》

給食費	月額	5,000円 (2号 6,500円)
光熱費	月額	500円 (2号 1,000円)
行事費	[3歳児] 年額	1,250円
	[4歳児] 年額	1,250円
	[5歳児] 年額	9,380円

《一時預かり保育、延長保育》

一時預かり保育：2歳児 392人

延長保育：0歳～5歳児 1,112人

《行事实施状況》

遠足、懇談会、お泊まり保育、七夕ウィーク、運動会、みんなで作ろう DAY、お店屋さんプロジェクト、表現発表会、ひじりカーニバル、カルタ会、こま回し大会、めっちゃビー大会、卒園式、

《施設関係》

園地面積 6,000㎡ 運動場面積 1,800㎡

《設備関係》

備品類の総点検を実施し、更新の有無を判断する。

②ひじりひがし幼稚園

《教育方針》

一人ひとりを大切にする。力強く生きる力を育てる。人や自然との関わりの中で自己肯定感（自尊感情）や意欲を育てます。

《教育内容》

異年齢の中で自分の興味関心のあることに取り組める環境を大切に、また、先生や友達と一緒に活動することの楽しさを十分に味わえるようにしています。

《保育時間》

月火木金曜日 午前9時～午後2時半 水曜日 午前9時～午前11時半
土曜日 休園

《基本保育料》

利用者負担金 1号、2号認定ごと、各市で定められた額

《入園諸経費》 入園検定料 5,000円

《特定徴収》

施設整備費

[3歳児] 年額 80,000円

[4歳児] 年額 60,000円

[5歳児] 年額 40,000円

教育充実費

[3歳児] 月額 7,500円（2号 8,000円）

[4歳児] 月額 5,500円（2号 6,000円）

[5歳児] 月額 4,500円（2号 5,000円）

《実費徴収》

給食費 月額 4,000円（2号6,000円）

光熱費 月額 500円（2号800円）

バス代 月額 3,000円（利用者のみ）

行事費 実費

《一時預かり保育、延長保育》

実施

《行事实施状況》

遠足、ぼうけんの日、懇談会、運動会、ひりじんまつり、みんなで作ろう DAY
お店屋さんプロジェクト、表現発表会、チャレンジ登山、お泊り保育、卒園式

《施設関係》

園地面積 2,158㎡ 運動場面積 972㎡

《設備関係》

備品類の総点検を実施し、更新の有無を判断する。

園庭の環境整備、植樹等を実施

《園児数》 5月1日時点 ()内は2号

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	2	40(4)	2	40(4)	2	40(4)	6	120(12)
30年度		36(4)		38(6)		39(11)	4	113(21)
令和元年度		36(9)		35(8)		38(7)	4	110(24)
令和2年度		35(5)		36(8)		36(11)	4	107(24)

※平成30年度より異年齢4クラス

《職員構成》

園長	1名	副園長	1名
主幹教諭	2名		
教諭	14名(兼1名)	ホームクラス担当	7名(兼2名)
栄養士	1名		
調理員	3名		
バス・園内環境	1名	バス添乗	1名
事務	1名	庶務	1名

③ひじりとよかわ保育園

《園児数》

保育所 定員19人	0歳児		1歳児		2歳児		園児数計	
	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月
30年度	3	5	6	7	9	8	18	20
令和元年度	3	6	8	7	6	8	17	21
令和2年度	1	4	7	7	6	8	14	19

《職員構成》

園長	1名		
主任保育士	1名	保育士	13名
保育補助	1名	栄養士	1名(ひがし兼任)
調理員	1名	事務	1名

3. 事業報告

せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園

コロナ禍の中でのスタートをした令和2年度。休園中は在宅家庭の支援として情報配信システムで、随時園からの情報を配信。家庭での過ごし方のヒントになる動画配信をしたり、ZOOMを使った双方向の関りが持てるようICTを活用した家庭との連携を実施。各家庭と電話連絡や支援児家庭との連携も取ってきた。緊急事態宣言解除後は、分散登園から実施。感染防止対策を工夫し、次亜塩素酸空気清浄機を各クラスに設置、おもちゃなどは電解除菌水で消毒。遊びコーナーは、屋外サーキットやテラスでのままごとなど密にならないように工夫し、給食時は各テーブルに透明シールドを

設置するなど、できる範囲での感染対策を実施し、こどもの安全を保障しながら育ちを支えてきた。しかし、感染のリスクを0に近づけようとする中で、子どもたちに経験してもらいたいことができなくなったり、友達との関わりが減少し、成長のリスクが高まってしまうという事態が起き、その都度、保育者同士で今の子どもの姿から育ちを把握し、日々の保育や教育課程等を再考していった。

行事などは、密を避けるために園全体から各学年単位への変更など形を変えて実施した。行事の変更や中止を余儀なくされることで、改めてその行事の持つ意味や子どもにとっての必要な経験などの視点から見つめなおすことにより新たな形が生まれた。

子どもの発達の保障と感染予防の狭間で、こどもの育ちを信じて、新たな保育を作り上げていくことができたことで、結果的に例年以上の子どもの育ちが見られたことは大きな喜びとなり、自信になった。

この間の取り組みは文部科学省の感染対策のリーフレット等に掲載され、また、大私幼でのオンライン研修や、日本乳幼児学会で「保育現場における子どもの安全と育ちの保障の狭間で」の学会企画シンポジウムでの発表として発信できた。大私幼の26次プロジェクトでは、「こどもと保育者でつくる育ちの記録」を日本標準より出版。引き続き「非認知能力の育ち」の縦断研究が継続されている等、学びの機会を多くいただいた。

にじいろ保育園の令和2年度はエッセンシャルワーカーの方々の仕事を支えるため緊急事態宣言中も条件付き保育を実施する形でスタートした。期間中、家庭保育に協力して下さる家庭の中には子どもと向き合う生活にしんどさを訴える保護者も数名あり、特にワンオペ育児の保護者に対して様々な配慮が必要であった。コロナ禍の現在、自分たちができることは何かと考え、園庭開放や動画配信、親子での時間が少しでも豊かなものになるような保護者支援・家庭支援を工夫し、メールや電話での相談はもちろんのこと、全家庭とのつながりを大切に考えた。また、保育理念に基づき一人ひとりの子どもを大切に、豊かな心としなやかな体に育つように努めてきた。子どもたちは保育者との信頼関係に支えられ、何より安心、そして心が安定した生活をするのが大切であると考え、日々の保育を振り返り、次の手立てへ繋げてきた。また、園内研修では目の前の子どもの姿から育ちを読みとるワークを重ね、自分たちの子ども理解への精度を上げていくためにトレーニングを積み重ねるなど学ぶ機会多くいただいた。

ひじりひがし幼稚園

令和2年度は緊急事態宣言により約1か月半遅れての保育開始であった。保育開始後もまだ不安を感じている家庭もあることや保育室内の密を避ける為に1週間の自主登園から始まり、その後2週間の2あるいは3グループに分けての分散登園を経て、通常保育を再開した。例年、入園（進級）当初は環境の変化に戸惑う子どもたちもいる中、少人数で保育を開始したことで、子どもたちは落ち着いて新年度を過ごすことができ、保育者もより丁寧に子どもに寄り添い関わることができた。

このような状況の中ではあったが、保護者や子どもたちへの情報の発信や共有の方法として、ZOOMやYouTube、こまめな電話連絡を取り入れることで保護者や子どもたちの不安を取り除くことができるよう努めた。感染対策として、手洗いうがいの

徹底、子どもたちがよく触れる箇所やおもちゃの消毒、給食時の飛沫防止の為にパーティションを使用するなど細心の注意を払って保育することを心掛けた。また、行事においても人数制限やプログラムの内容を縮小するなど工夫を行った。

今まで当たり前のようにできていたことが難しくなり制限の多い1年だったが日々、保育を振り返り、子ども理解に努めながらどのようにすれば子ども達が主体的に生活や遊びを楽しむことができるのか保育者間で話し合いの場を持ったり、子どもたちとも一緒に遊びのルールを考えるなど保育をつくっていった。コロナ禍ではあったが、子どもたちが元気に登園し、笑顔で遊ぶ姿や例年通りの成長が観られたことが私達保育者の喜び、活力となった。

ひじりとよかわ保育園

令和2年1月より発生したコロナウイルス対策としては、国、大阪府、箕面市の連絡に注視しつつ、感染予防に配慮した環境の工夫、日々の健康チェックや消毒を励行した。また、条件付き保育時には、家庭保育を協力してくださる家庭に向けて保護者との連絡を密にしたり、YouTubeを通して子どもの好きな体操、絵本の読み聞かせなど配信したりすることにより良好な関係を築くことができた。

家庭支援の場として、9月より園独自の事業として一時保育を開始した。62人の利用があった。安心して預けていただけるよう子どもや保護者の気持ちに寄り添うことを心がけ、保育園だからこそ経験できる環境や活動を工夫するようになった。

正職会議、リーダー会議を通して日々の保育の振り返りをすると共に月1回の職員全員の会議では理事長を交えてポートフォリオを通して子どもの育ちの共有をしたり、マップでの子どもと保育士の関係を読み取り、意見交換の場を持った。

4. 経営状況

人事面では採用に際して多くの応募があり、比較的早期に優秀な人材を確保することができた。新任に対しては新任の実態に即して、無理なく計画的に研修を実施し資質の向上を支援していきたい。リーダーの育成についてはキャリアパスを踏まえて、各施設のミドルリーダー向けに園内研修を実施する等、ミドルリーダーの育成に注力した。また、今回の新型コロナを契機としてICT環境の改善等により、これまで積み上げてきた様々な環境や教材、保育の可視化等に関するリソースの共有化を進めるとともに、さらなる働き方の改革に取り組み、事務負担を軽減し専門職としての仕事に注力できる職場環境の充実を図りたい。

財務面では、4月、5月の緊急事態宣言による休園期間中の特定徴収金の減免、コロナ禍で特に乳児の保育を控える傾向が全国的に広がっていることによる園児減等により、教育活動収入計が666,992千円、教育活動支出計635,082千円となり、教育活動収支差額が31,910千円と前年度より500万円ほど減少している。コロナ禍で出生数が減少しているため、これからの本格的な少子化に対して園として対応していきたい。

人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、処遇改善や特別支援を要する園児の増加による加配職員の増加や国の配置基準以上の人員配置により前年度より2.9%高い68.8%となった。質の高い乳幼児教育を提供することを第一に考えながら、社会に貢献することと、持続可能な運営のバランスを考えていく

い。又、私立幼稚園団体に対して厳しい目が向けられている状況下であるので、法人のコンプライアンスを重視した経営に努めたい。

借入金の返済に関しては返済のピークの4年間が終了したが、感染症防止に加えて設備や機器備品の更新や修繕を見据えた積み立てを行っていききたい。又、働き方改革の一環としてのICT化に関しては必要性や有効性を見極めながら経費の削減等にも努めていきたい。

翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りに関しては問題がない。

5. 研修の状況

せんりひじり幼稚園

研修日	主催・研修会名	研修内容	講師名	参加者
	園内研修	岡先生 園内研修	岡健先生	
		伊丹先生特別支援研修	伊丹昌一先生	
		リーダー研修		
		新任研修		
	大私幼プロジェクト	26次非認知能力	北野幸子先生	かえで
		28次幼小接続	鈴木正敏先生	藤原
		29次保育の可視化	松井剛太先生	畑中
	保育と仲間研	行事見直しプロジェクト		南
	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ連続講座	秦 賢志先生	湯浅里田
	府教育センター	幼児教育アドバイザー育成研修		中嶋
6月26日		ECERS オンライン研修	埋橋玲子先生	かえで
7月29日	神戸私幼	園長研修		かえで
11月14日	乳幼児教育学会	シンポジウム		かえで
11月30日	伊丹市教育委員会	さくら台こども園公開保育		園長・かえで
12月20日	全日本私立幼稚園 幼児教育研究機構	幼児教育実践学会		全員
2月15日	大私幼	園長・設置者研修	松井剛太先生 他	園長・かえで 藤原・南
3月5日	保育と仲間研	はまようちえん公開保育		水上・青島 澤木
3月8日	大私幼	教育研究大会	遠藤利彦先生 他	全員

ひじりにじいろ保育園

研修日	主催・ 研修会名	講座	講師名	時間	参加者数
4月下旬	自宅研修	ひじりフィロソフィーブック（レポート提出）	安達 譲先生		全員
4月下旬	自宅研修	子どもへのまなざし（レポート提出）			全員
7月12日	園内研		岡 健先生	6時間	全員
9月17日	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ 連続講座	秦 賢志先生	4時間	1
9月18日～ 20日	赤ちゃん学会	始まりは赤ちゃん	遠藤利彦先生 麦谷綾子先生 他	計18時間	1
9月25日	園内研		岡 健先生	6時間	全員
10月1日	豊中子ども財団	乳幼児期の生活リズムと今日の課題	石井浩子 先生	2時間	全員
10月8日	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ 連続講座	秦 賢志先生	4時間	1
10月8日～ 19日	豊中子ども財団	3.4.5歳児につながる乳児保育を考える	大方美香 先生	2時間	6
10月28日	大私幼	乳児保育研修会	北野 幸子先生	3時間	2
11月10日	園内研		岡 健先生	6時間	全員
11月10日	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ 連続講座	秦 賢志先生	4時間	1
12月12日	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ 連続講座	秦 賢志先生	4時間	1
2月19日	園内研		岡 健先生	8時間	全員
2月20日	園内研 （四施設合同）		岡 健先生	3時間	12
2月20日	園内研 （四施設合同）	リーダー研修	岡 健先生	3時間	4

ひじりひがし幼稚園

研修日	主催・研修会名	講座	講師名	時間	参加者数
4月下旬	自宅研修	ひじりフィロソフィーブック（レポート提出）			全員
4月下旬	自宅研修	子どもへのまなざし（レポート提出）			全員
5月26日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	1時間	1
5月28日	園内研	異年齢・教育課程について	岡 健先生	6時間	全員
6月5日	フレッシュ研修		園長		2
6月12日	オンライン研修	保育の再開に向けての衛生対応	平林 円先生	約25分	全員
6月23日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
7月12日	園内研		岡 健先生	6時間	全員
7月17日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
9月17日	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ連続講座	秦 賢志先生	4時間	2
9月24日	園内研		岡 健先生	6時間	全員
9月25日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
9月28日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 ～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
10月8日	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ連続講座	秦 賢志先生	4時間	2
10月23日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
10月30日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 ～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
11月10日	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ連続講座	秦 賢志先生	4時間	2
11月11日	園内研		岡 健先生	6時間	全員
11月14日	ちやいどネット大阪	児童虐待事件の取材から見たもの	杉山 春先生	2時間	1
11月25日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 ～子どもや保護者と共有するための可視化や発信	松井 剛太先生	2時間	1
11月27日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1

12月11日	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ連続講座	秦 賢志先生	4時間	2
12月17日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 ～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
12月18日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
12月20日	第11回幼児教育 実践学会	新しい時代を伸びやかに生きる 一社会に開かれた質の高い幼児教育をー	岡 健先生	3.5時間	6
1月12日	大私幼	ファシリテーション・リーダーシップ連続講座	秦 賢志先生	4時間	2
1月20日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 ～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
1月22日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
1月27日	大私幼	ECEQ 公開保育（アサンプション幼稚園）		6.5時間	2
2月2日	箕面私幼（動画配信）	子どもの理解と関わり方の視点	伊丹 昌一先生	1.25時間	全員
2月19日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切な ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
2月20日	園内研修	4施設合同研修	岡 健先生	3.5時間	13
2月20日	園内研修	リーダー研修	岡 健先生	2時間	8
2月22日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 ～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
3月8日～	大研大会（オンライン）				13
3月24日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 ～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1

ひじりとよかわ保育園

研修日	主催・研修会名	講座	講師名	時間数	参加者数
7月8日	園内研修	食事について	岡 健先生	5時間	全員
9月24日	園内研修	百面相について	岡 健先生	5時間	全員
9月28日	第29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 (Zoom)	松井剛太先生	2時間	1
10月30日	第29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討	松井剛太先生	2時間	1
11月11日	園内研修	子どもの身体の保障	岡 健先生	5時間	全員
11月25日	第29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 (Zoom)	松井剛太先生	2時間	1
12月17日	第29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 (Zoom)	松井剛太先生	2時間	1
1月20日	第29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 (Zoom)	松井剛太先生	2時間	1
2月19日	園内研修	2項、3項関係について	岡 健先生	6時間	3
2月20日	園内研修 (せんり)	リーダー研修	岡 健先生	7時間	5
2月24日	第29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 (Zoom)	松井剛太先生	2時間	1
3月24日	第29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討 (Zoom)	松井剛太先生	2時間	1

